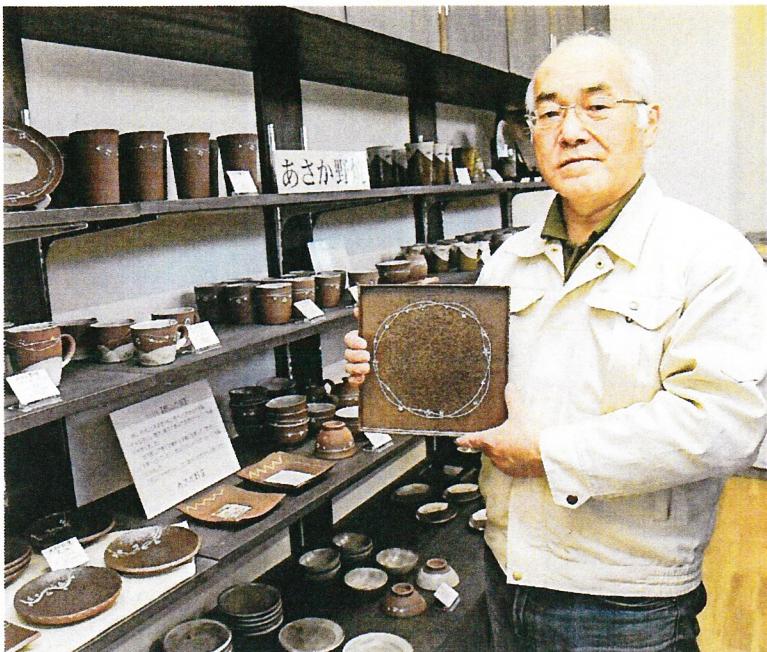


# 「郡山の風」表現

## あさか野焼感謝込め制作

「郡山の風」をテーマにした「あさか野焼」を制作した志賀さん



太堀相馬焼 岩塗窯 窯元 志賀さん 郡山で展示会

浪江町の大堀相馬焼岳  
窯元の十六代目窯元だつ  
た志賀喜宏さん(五〇)の  
「あさか野焼新作発表展  
示会」は二十七日まで郡  
山市あさか野窯ギャラ  
リーで開かれている。

「郡山の風」をテーマに、  
郡山市日和田町の土を材料  
にした皿や湯飲みなど新作  
約百点が並ぶ。優しく、時  
に荒々しく街、山、樹木、  
草花に吹き付ける同市の風  
をイメージした。市内の粘  
土は鉄分が多く、焼成する  
と焦げ茶色になる。今回は

歴代の窯元が受け継いだ  
伝統の技術を生かしながら  
独自の作品を残そうと発起  
した。志賀さんは「郡山へ  
の感謝を込めて制作した。  
手にとって郡山の魅力を感じ  
てほしい」と呼び掛けて  
いる。

時間は午前九時から午後  
六時まで。問い合わせはあ  
さか野窯 電話024(9  
73) 633204。

粘土の粒子を細かくせず、  
素朴な土味を感じる作品と  
なっている。

志賀さんは東京電力福島  
第一原発事故に伴い、浪江  
町から田村、二本松、本宮  
の各市に避難した後、郡山  
市に移り住んだ。避難生活  
が続き、一時は制作活動を  
諦めかけた。郡山市民との  
交流が深まるにつれ、「新  
しい古里・郡山の人に愛き  
れる焼き物を作りたい」と  
の思いが強くなつたとい  
う。